

事業名	食育推進費			調書番号	10
細事業名	食育推進協議会開催費	財務コード	714202		
担当部課室	県民生活 部 消費生活安全 課 食の安全・食育 担当 (内線)2272				

I 事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	食育に取り組む事業者、団体等	会議を開催することにより、食育に関する課題等への共通認識を持ち、食育推進活動の実施が定着している。
結果、何に結びつけるのか	「第3次やまなし食育推進計画」に基づき、県民の食育に対する関心を高め、県民運動として推進する。	
内容	食育推進協議会や幹事会を開催し、構成団体相互の情報交換および連絡調整、食育推進シンポジウムの企画・運営等を行う。 平成30年度 ・食育推進協議会幹事会 1回開催 令和元年度 ・食育推進協議会幹事会 6月に開催 ・食育推進協議会研修会 9月開催予定	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	総会、幹事会等の開催回数	目標	2	2	2	2	2	2.0
		実績(見込)	2	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0
		達成率	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0
		達成区分	b	b	b	c	c	b
成果指標	食育推進協議会の構成団体が実施する「伝統的な料理や作法を継承し伝える活動」の参加人数	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績(見込)	13,361	データなし	13,795.0	13,998.0	16,550.0	17,000.0
		達成率	95.4		98.5	100.0	118.2	121.4
		達成区分	b		b	b	a	
決算(予算) 単位:千円		15	15	12	2	2	17	17

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	c	評価	・食育の一つである食文化の伝承に関連した「伝統的な料理や作法を継承し伝える活動」に、協議会参加団体が積極的に取り組み意図した成果を上げている。
成果指標	b		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	・R1年度に本県で開催した「食育推進全国大会」により、県民の食育に対する関心が高まっており、構成団体の拡大などさらに広い分野での活動が見込め成果の向上が可能である。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	・H30には他の会議と合同で開催し、また今年度は研修会を新たに開催するなど、実施方法の見直しを随時行っている。
見直しの必要性	有	R1実施方法の見直し済み。

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	R1実施方法の見直し済み。
------	----	---------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。